

令和元年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」 活動推進実践報告書

1 学校の概要（5月1日現在）

- (1) 学校名 埼玉県立新座総合技術高等学校
- (2) 学級数 20学級
- (3) 生徒数 723人
- (4) 教職員数 109人

2 「私たちのネット利用ルール」づくりについて

(1) 取組内容（決定までのプロセス）

昨年度、SNS上での誹謗中傷などのトラブルが生徒同士だけでなく、本校生徒数名と外部の方とのトラブルも発生してしまった。

今年度は、例年1学期末に全校生徒対象で行っている「生徒指導講話」の中で、警察の担当者からネットトラブルに関する内容に多く時間を割いていただいた。8月の「ネット利用ルールづくり」合同ワークショップには、情報技術科、デザイン科それぞれの代表生徒が参加した。夏休みに「IPAひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」に応募する標語（情報技術科、情報技術研究部）、ポスター、4コマ漫画（デザイン科有志）の作成に取り組み、9月に応募した。

(2) 全校への周知の方法

上記のコンクールに応募した作品を学校のホームページ上で公開した。また、デザイン科の生徒が応募した4コマ漫画2点が優秀賞を受賞したので、表彰式の様子も掲載した。また、IPAのホームページに掲載されていることを周知した。さらに2学期終業式前の表彰式で、全校生徒を前に受賞した生徒の表彰を行い、学校内に作品を展示した。

(3) 私たちのネット利用ルール

「パスワード 個人情報 まもります」

「情報網 ウイルス入れられ 包囲網」

3 活動推進校独自の取組（広報活動）について

(1) 活動内容

情報技術研究部（情報技術科）では、定期的に行っているマナー会議や標語作成の活動を通じて、ネット利用に関する考えを深めた。

デザイン科は、夏季休業中の自由課題として上記のコンクールに向けた作品制作を行い、ネット利用に関する考えを深めた。また、優秀賞を受賞した4コマ漫画2点を校内に展示して、全校への周知を行った。

それぞれの学科の学習内容や特色を生かした活動を行うことができた。



優秀賞を受賞した生徒の表彰の様子



優秀賞受賞作品の展示の様子

(2) 実施期間

実際に標語づくりや作品制作などは、令和元年5月～9月頃までであったが、その後の優秀賞受賞作品の展示は来年度以降も継続する予定である。

4 活動の成果と課題

(1) 成果

入学直後の1年生でSNS上の小さなトラブルが発生したが、それ以外では現在まで目立った問題は発生していない。生徒の間ではネット利用で生じるトラブルについて、起こしてはならないという意識が高まっていると考える。

また、「ネット利用のルールをつくる」という共通の目的に向けて、情報技術科、デザイン科それぞれの生徒が自分たちの得意な表現方法を使って取り組めたこと、異なる学科の生徒と一緒に合同ワークショップやネットトラブル防止サミットに参加できたことは大きな教育効果があったと考える。

(2) 課題

今回は、情報技術科、デザイン科の2つの学科に属する生徒を中心とした活動であったが、他の学科に属する生徒にもネット利用について考える機会を広げ、本校生徒ひとりひとりがネット利用のルールやマナーについて自分自身の問題としてとらえることができるよう、今後も取り組んでいくことが課題である。